

平成26年9月17日
総務文教常任委員会 会議録 審査内容
◇会議録

- 1 日 時 平成26年9月17日
開会 16時55分 閉会 17時11分
- 2 場 所 役場5階会議室
- 3 出席者 委員長 前川雅志 副委員長 田口廣之
委員 小川純文 乾邦廣 芳滝仁 中橋友子(6名)
- 4 傍聴者 小島智恵 岡本眞利子 谷口和弥 野原恵子 増田武夫
- 5 事務局 局長 野坂正美 課長 萬谷司 係長 佐々木慎司
- 6 調査及び審査事件
(1) 付託議案の審査について
①請願
請願第1号 『「南京大虐殺」「従軍慰安婦」のねつ造に対する公正な歴史認識の徹底検証及び対応を求める意見書』の提出を求める請願書
②陳情
陳情第18号 「高校教育の無償化」の復活と教育予算を増やし拡充をもとめる意見書の提出を求める陳情
陳情第19号 札内支所機能の充実を求める陳情書
(2) その他
- 7 調査及び審査結果 別紙

委員長 前川 雅志

◇ 審 査 内 容

(16:55 開会)

- 委員長（前川雅志） ただいまから、総務文教常任委員会を開会いたします。
本日の議事日程につきましてはお手元に配布のとおりであります。
それでは議事①番、付託議案の審査についてであります。
はじめに、請願第1号『「南京大虐殺」「従軍慰安婦」のねつ造に対する公正な歴史認識の徹底検証及び対応を求める意見書』の提出を求める請願書を議題といたします。
委員のみなさまからご意見を頂きたいと思っております。乾委員。
- 委員（乾邦廣） 先の委員会で私、朝日新聞社に全面的な謝罪を求める項目を追加する
お願いをさせていただきました。これが幸いしたのか、先日、朝日新聞社が謝罪をいた
しました。謝罪をしたことで少し状況が変わってきたのかなということもありますが、
この請願については、一議会で結論を出していいのか悪いのかも含めて、また世論の動
向も見ながらもう少し時間を頂いて、それぞれ委員の皆様が検討すべきものと思ってお
りますので、この案件については閉会中の継続審査でお願いしたいと思っております。
- 委員長（前川雅志） ただいま乾委員から、継続審査の申出ということでご意見があり
ましたけれども、他の委員の皆様からご意見ありますか。他にご意見が無いというこ
とは、この請願については閉会中の継続審査ということで決定させていただいてよろしい
ですか。

(よいの声あり)

- 委員長（前川雅志） それでは請願第1号『「南京大虐殺」「従軍慰安婦」のねつ造に
対する公正な歴史認識の徹底検証及び対応を求める意見書』の提出を求める請願書につ
いては閉会中の継続審査ということに決定いたしました。
それでは②番に入らせていただきたいと思います。中橋委員。
- 委員（中橋友子） 会期ありますよね。会期ある中で、閉会中と言い切って良いのです
か。今の段階では継続審査だけなのではないかと。違いますか。
- 委員長（前川雅志） 暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

- 委員長（前川雅志） 休憩を解いて再開いたします。芳滝委員。
- 委員（芳滝仁） この問題は、歴史認識の問題でありまして、委員、私も含めて勉強し、
検証する時間が必要なのだろうという判断をしております。たとえば、私は別の活動の
ところで、松代というところの人権問題に2年ほど入ったことがありました。そこでは
まさに大本営が作られておりまして、昭和でいえば19年の11月11日11時11分に、はじめ
の発破がなって掘り始めた。大防空壕です。そこに皇居と、大本営と、その当時の政財
界が全部入る、ものすごい大きな洞窟が75%出来上がっている。その当所は7,000人の
朝鮮人労働者、3,000人の日本の労働者。最盛期の4月には1万人、1万人動員された。
日本の会社は西松と鹿島ですよ。そのほかに61万人の総人数でその中に約70万人の勤勞
奉仕者がいた。8月15日、その日まで続けられて75%出来上がっているのですよ。その
現地に行きました。その私入ったところに、3か所の慰安所が設置されていたというこ
とがありました。だから従軍ではないけれども、戦時中にそういう施設がどういう形で
あっても設置をされてあったという事実があって、その施設がそのあと博打場になって、
警察になって、倉庫になって、今は更地になっているというところまで確認をしてお
ります。その当時生きていらっしゃった方、その近くに私入ったものですから、その方々
からじかに話を聞かせていただいております。戦時中の話ですから、日本の兵隊さんも

それこそ戦った方々もみんな被害者で、戦争を仕掛けたのが加害者ですよ。そういう中でのことです。非常に歴史認識のところでは本当に私の叔父も二人戦死をしております。大陸と南方で死んでおります。その叔父たちが例えば大虐殺をしているとは私は思いません。思いませんけれども、若い時にアルバイトをしていた時に広東軍の生き残りの人と会いました。話を聞かせてもらいましたら、耳をふさぎたくなるような話でした。ですから、一概に言えないことがあります。そういう意味で、しばらく長く時間をかけて、研究をし、検証をしていく大きな問題なのだろうということで、閉会中まで時間をかけてやる必要があるという考えであります。

- 委員長（前川雅志） 中橋委員。
- 委員（中橋友子） さきほど乾委員が発言されたこと、充分理解をするところです。その上で、議会のルール上どうなのかということで発言させていただいたところありますから、審査に、今芳滝委員からありましたけれども、10年ほど前に松代大本営の方に、実際その洞窟のなかに入ってきました。伏せられていたのですよね。それも。ただ、地元の高中生や研究者の人たちからそれが発掘されて公表されて。だから、まだまだ歴史の事実というのは、ペーパーだけでは判断できない深い過去があるという思いであります。考え方はこれに持っていますけれども、十分時間をかけるという点では賛同したいと思います。
- 委員長（前川雅志） 他にありませんか。なければ請願第1号につきましてはまだ会期ありますが閉会中の継続審査とさせていただきたいと思っておりますがよろしいですか。

（よいの声あり）

- 委員長（前川雅志） それではつぎの陳情第18号 「高校教育の無償化」の復活と教育予算を増やし拡充をもとめる意見書の提出を求める陳情を議題といたします。これは前回提出されまして、大学まで無償化を求めるという文言が入ってございましたが、それを削除して再度上がってきた陳情でありまして、他については文章の内容が異なることはありません。委員の皆様からご意見があれば伺いたいと思っております。中橋委員。
- 委員（中橋友子） 高校の無償化は一度実現されていたものですが、政権が代わって変えられたという中身であります。ほとんどの児童生徒が高校進学しているという状況を考えれば、また昨今の経済状況を考えれば、復活を求めるというのは今の状況の中で当然あることだと思理解するという意見を持っております。文言では下の方に一つ大学というものがあつたのですがそれが消えていると思っております。以上です。
- 委員長（前川雅志） ほかにご意見ございませんか。ないですか。

（なしの声あり）

- 委員長（前川雅志） なければ討論に入りますが、反対の方がなければ討論は省略させていただきたいと思っております。それでは陳情第18号につきましては採択するというのでよろしいですか。

（よいの声あり）

- 委員長（前川雅志） それでは陳情第18号 「高校教育の無償化」の復活と教育予算を増やし拡充をもとめる意見書の提出を求める陳情につきましては採択と決しました。

つぎに陳情第19号 札内支所機能の充実を求める陳情書を議題といたします。これも6月議会に提出をされた内容から、大きくは札内支所を総合支所にしてほしいというタイトルだったのですが、そこの文言が文章中也削られまして、あくまでも札内支所の機能充実を求める陳情と訂正をされて、出しなおしをされてきました。委員の皆様からご意見を頂きたいと思っております。企画室からこの陳情につきまして、文章中に公区の数が入っております、1のところの中段59公区となっておりますが、ここは56公区の誤り

でした。委員の皆様からご意見ございませんか。

(なしの声あり)

- 委員長（前川雅志） これも長く議論を重ねてまいりましたので討論に入りたいと思うのですが、反対する討論があれば伺いたいと思います。

(なしの声あり)

- 委員長（前川雅志） 賛成の討論もずっと意見が出ておりますので省略させていただいてもよろしいですか。

(よいの声あり)

- 委員長（前川雅志） それでは反対者がいませんので、採択することに決してよろしいですか。

(よいの声あり)

- 委員長（前川雅志） それでは陳情第19号 札内支所機能の充実を求める陳情書については採択に決定いたしました。